

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 2 月 7 日 (2013.2.7)

【公開番号】特開 2011-120053 (P2011-120053A)
 【公開日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-024
 【出願番号】特願 2009-276330 (P2009-276330)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 28 日 (2012.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

本発明を実施する開閉装置としての実施形態は、小型電子機器の第 1 の筐体と第 2 の筐体を相対的に開閉させるものであって、前記第 1 の筐体に取り付けられたリンク手段と、このリンク手段の可動部に取り付けられたスライドベース部材を有するスライド手段とから成り、前記リンク手段は前記スライドベース部材を水平状態より上下方向へ旋回させてリフトダウン及びリフトアップ動作させるリンク手段を備えており、前記スライド手段は前記第 2 の筐体側へ取り付けられ前記スライドベース部材に対してスライド可能に係合させたスライドプレートと、このスライドプレートと前記スライドベース部材との間に弾設した弾性手段とをさらに有するものとするものであり、また、このような構成の開閉装置を第 1 の筐体と第 2 の筐体の間に取り付けた小型電子機器とすることである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

第 1 の筐体 2 の後端部両側には、とくに図 1 0 に示されたように、リンク手段 6 の取付部材 8、8 のベース部 8 a、8 a を取付ネジ 2 0、2 0 で取り付ける取付凹部 2 b、2 b と、この各取付凹部 2 b、2 b を繋ぎジョイントアーム 9 を収容させる収容溝部 2 c が設けられ、図 5 に示されたように、この収容溝部 2 c に設けた挿通孔 2 d から第 1 の筐体 2 内の第 1 回路基板 1 0 に接続させたフレキシブルケーブル 1 1 が導出され、第 2 の筐体 3 に設けられた挿通孔（図示は省略）及びスライドプレート 1 6 の切欠 1 6 c を介して当該第 2 の筐体 3 内部へ導かれ第 2 回路基板 1 2 に接続されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

スライド手段 5 は、とくに図 6 乃至図 1 0 に示したように、基板 1 3 a と、この基板 1

3 a の両側部に設けられた断面略横 U 字形状の取付溝 1 3 b、1 3 b を有し、リンク手段 6 のジョイントアーム 9 に第 2 リンクピン 1 9 を介して回転可能に取り付けられたスライドベース部材 1 3 と、このスライドベース部材 1 3 の取付溝 1 3 b、1 3 b に取り付けられた断面略横 U 字形状の摺動促進部材 1 5、1 5 に設けたガイド溝 1 5 a、1 5 a にその両側部のレール部 1 6 a、1 6 a をスライド可能に挿通させて、第 2 の筐体 3 の下面へ取り付けられた平面略矩形状を呈したスライドプレート 1 6 と、このスライドプレート 1 6 とスライドベース部材 1 3 の両側部との間に弾設された、例えばスネークスプリング等から成る一对の弾性手段 1 7、1 7 とで構成されている。尚、図 1 0 に指示記号 1 6 b、1 6 b で示されたものは、弾性手段 1 7、1 7 の一端部 1 7 a、1 7 a を取付ピン 1 8 a、1 8 a で取り付けるための取付孔である。また、スライド手段 5 は図示のものに限定されない。スライドベース部材があって、これに対して第 2 の筐体がスライド可能に取り付けられていれば良い。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

まず、図 1 に示した第 1 の筐体 2 に対して第 2 の筐体 3 が閉じられた閉成状態においては、図 6 と図 1 0 に示したように、スライド手段 5 の弾性手段 1 7、1 7 がスライドベース部材 1 3 を介して第 2 の筐体 3 を閉成方向へ押しているので、第 2 の筐体 3 は閉成状態で第 1 の筐体 2 に対しロックされている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

前記リンク手段は、前記第 1 の筐体の後端部両側部に取り付けられた一对の取付部材と、この各取付部材間に達しその一側端側を第 1 リンクピンを介して起倒可能に取り付けられ他側部側を第 2 リンクピンを介してスライドベース部材に回転可能に取り付けられ、チルトアップ時に前記第 1 の筐体の後部と第 2 の筐体の後部の間の間隙を覆うことのできるジョイントアームとで構成したことを特徴とする、請求項 1 に記載の小型電子機器の開閉装置。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 に各記載の開閉装置を、前記第 1 の筐体と第 2 の筐体の間に取り付けたことを特徴とする、小型電子機器。

【手続補正 8】

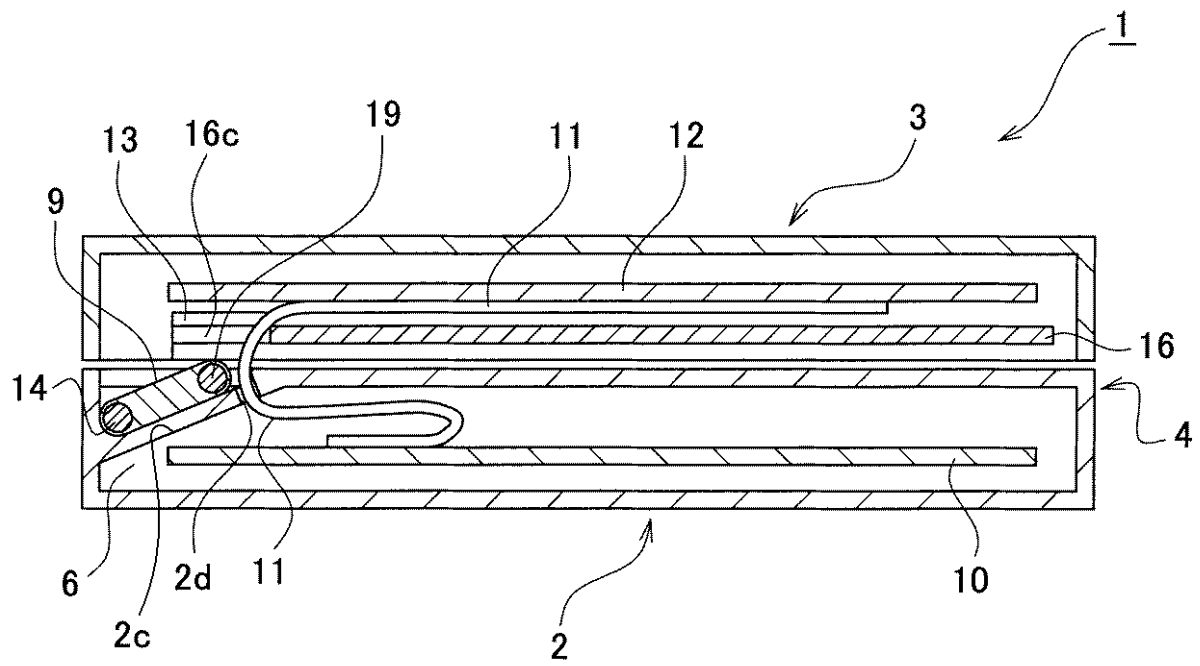
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 12】

